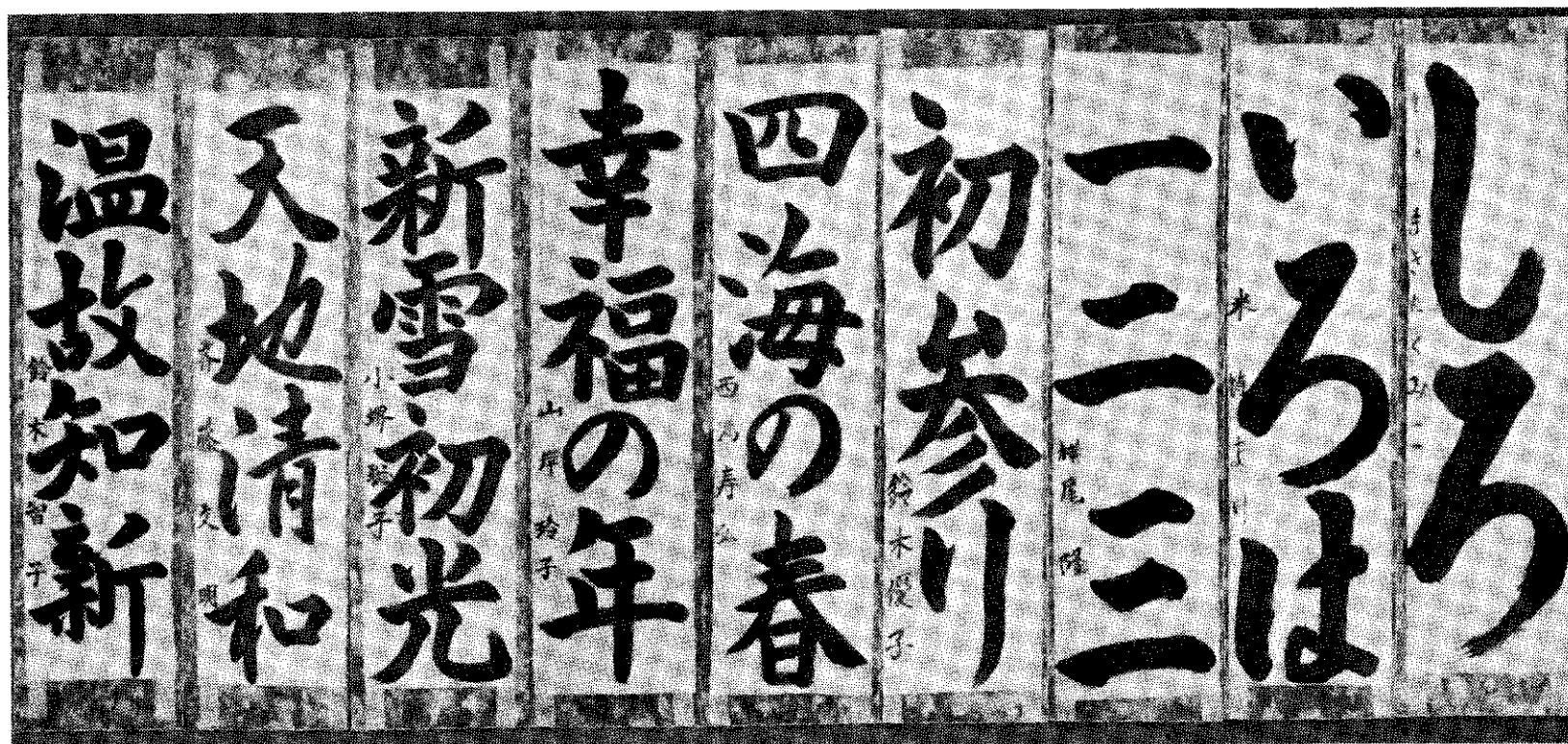


松代町書初展覧会 =小・中学校の部特選作品=



小学校一年

牧田

久美子
峠小学校

小学校二年

米持

まり
室野小学校

小学校三年

横尾

隆
峠小学校

小学校四年

鈴木

優子
松代小学校

小学校五年

西潟

寿弘
室野小学校

小学校六年

山岸

玲子
寺田分校

中学校一年

小堀

聡子

中学校二年

斉藤

文明

中学校三年

鈴木

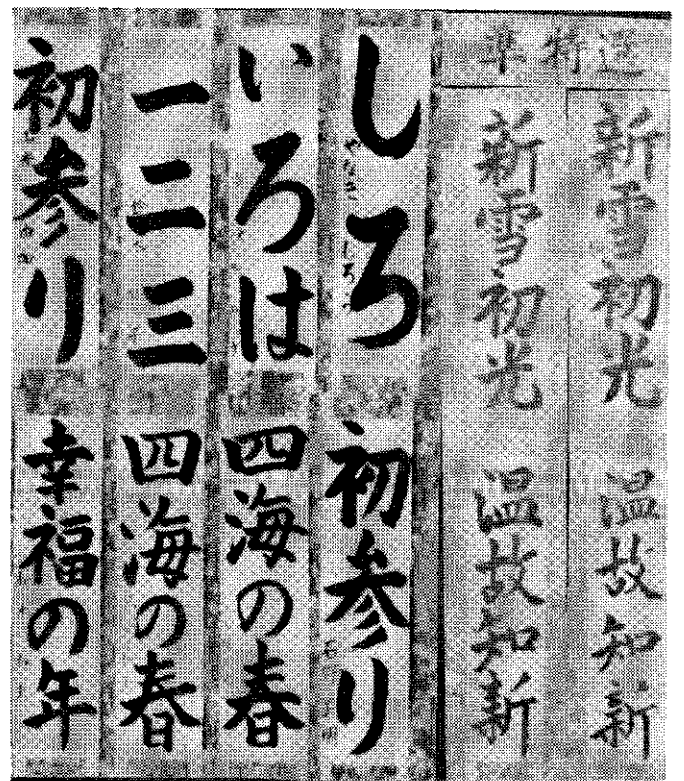
智子



昭和55年2月15日発行
第243号

新潟県松代町公民館
電話 松代 7-2301番

印刷・松代印刷所



ご出品ありがとうございました。

恒例の町書初展覧会を1月18日・19日の2日間にわたり町総合センター13階大ホールで開催いたしました。

毎年一般の皆様と各学校のご協力を得て、町教育振興会と公民館が主催し実施しているものですが、今年も、小・中学校児童・生徒の部、高校生の部、一般の部に加え、室野書道会、福島仲よしお習字会から多くの作品が出品され、盛大に終了いたしました。

ご出品、設営にご協力くださいました方々に厚くお礼申し上げます。

なお、小学校・中学校・高校の部特選・準特選を表彰し、出品作に奨励賞を授与いたしました。

小学校準特選

一学年 柳 志朗 (松代小)
 二学年 高 沢 優美子 (松代小)
 三学年 鈴 木 信子 (室野小)
 四学年 山 岸 由加 (室野小)
 石 野 正明 (峠小)

中学校準特選

五学年 武 田 和 美 (松代小)
 小 堀 仁 史 (蒲生小)
 六学年 鈴 木 和 夫 (室野小)

高校の部

一学年 関 谷 直 美・柳 泉
 三学年 佐 藤 睦 子・菅 井 和 博

↑ 特選

小野島 佳子

三年

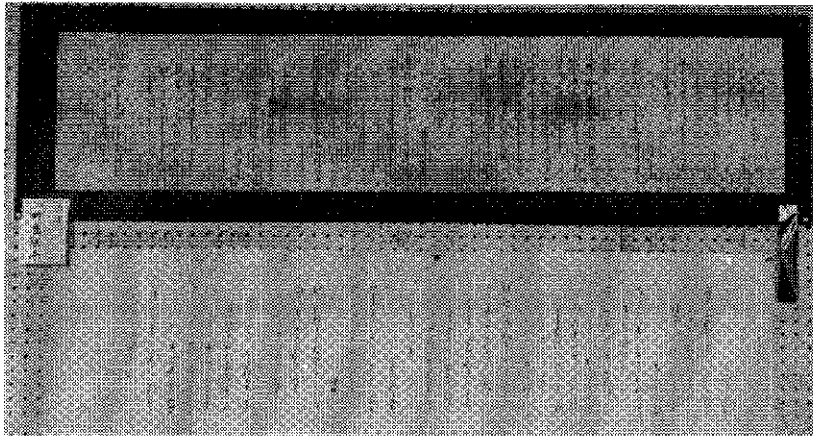
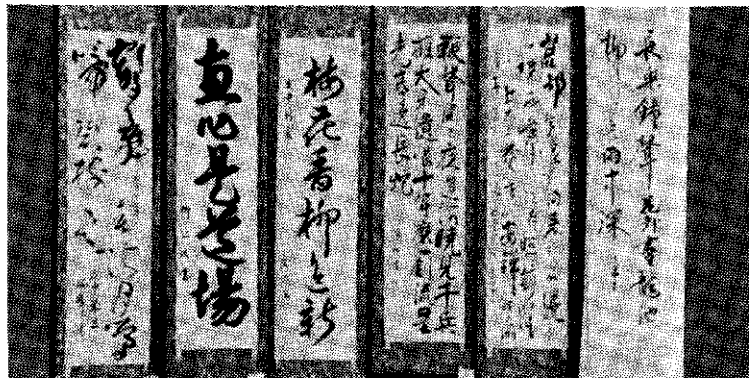
準特選

斉藤 義 弘
 二年

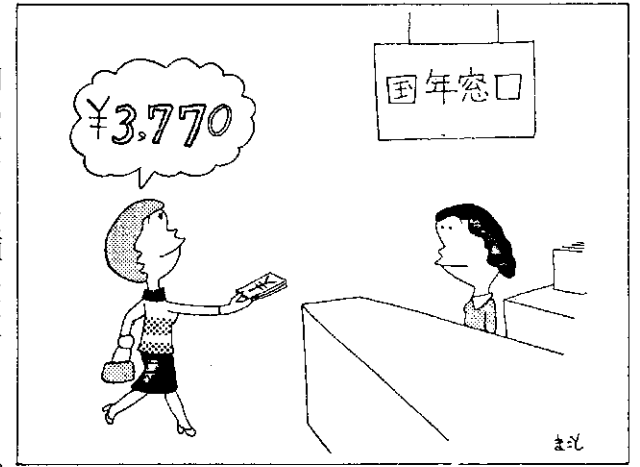
樋口 良 夫
 一年

斉木 伸 子
 三年

一般の部



国民年金の保険料が4月から3,770円に



国民年金の定額保険料が、この四月から一ヶ月につき三、七七〇円に改められます。

付加保険料は、いままでどおり一ヶ月につき四〇〇円とすえ置きです。から、付加保険料に加入している人は一ヶ月につき四、一七〇円をかけることになりました。

国民年金は、昭和五十一年度の

法改正とその後、の物価スライドにより、夫婦がともに付加保険料に加入して二十五年間かけた場合、年額一、〇六一、四〇〇円（月額八八、四五〇円）の年金が支給されるようになりました。現在の年金額を支給し、将来にわたって健全な年金財政を維持していくために必要な保険料は、一ヶ月七、〇〇〇円程度といわれていますが、国では、加入者のみなさんの負担が急に増えることを避けて、昭和五十二年度から保険料の段階的引き上げを行ってきました。今年の改正理由は、この段階的な引き上げに加え、昨年の年金額の増額（物価スライド分）に要した財源を補てんしようとするものです。

このようなことから、加入者のみなさんの負担も大きくなるわけですが、国民年金をよりよい制度にするためのやむを得ない措置です。ので、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

ご協力ありがとうございました

— ございました —

とりあえず広報紙をおかりして十二月末までの中間報告を申し上げるとともに、ご協力くださった皆さんに厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社新潟県支部

昨年十一月から募集いたしました「カンボジア難民救援金」には皆さんから深いご理解と協力をいただきありがとうございました。おかげ様で十二月末日現在寄せられた救援金は百十二件、三百二十四万八千円余の多きに達しました。

赤十字では医療班二チームを現地に派遣したほか更に一チームが待機しています。

このほか、食料品、ベビーフード、医療品を送って救援を続けています。

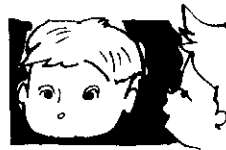
この救援金は引き続き受け付けておりますし、これに限らず国内外への救援金も常時受け付けていますので暖かい善意をご寄託ください。

— 人口のうごき —

2月1日現在

世帯数 1,890 (+1)
人口男 3,658 (-1)
女 3,724 (-3)
計 7,382 (-4)

出生 11 死亡 7
転入 5 転出 13
増計 16 減計 20



戸籍の窓口から

一月受付分（受付順）

ごけつこん



おめでとう

大野賢郎・柳 保子 松代 吉沢光学

おたんじょう



おめでとう

山岸美沙子

父利男 母多恵子

長女 浦生屋 松野屋

萬羽亜紀子

父和雄 母てる子

長女 会沢原 石沢原

山本 芳信

父耕一 母千枝子

長男 犬伏度 伴年度

佐藤 悦雄

父幸治 母秀子

長男 竹所林 杉林

西方 佑美

父辰蔵 母慶子

長女 千年 源之助

宮澤 祐司

父勝英 母タミエ

二男 下山 高原

中澤 翼

父敏雄 母栄子

長男 木和田原 戸花

村山 和美

父友一 母京子

三女 室野 糰や

室岡 一憲

父正志 母直子

長男 松代 松栄館

若井 信行

父好平 母愛子

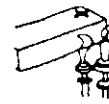
長男 松代 常七

室岡 誠

父誠一 母節子

長男 田舎 田倉

おくやみ (死亡)



佐藤 由松

八〇才 室野 由兵衛

蒲生 越前

小堺甲一郎

六二才 寺田 本家

菅刈 あらやしき

井上 誠

七二才 木和田原

東屋

五十嵐又一

七三才 小荒戸 新屋

後田

昭和54年死亡原因について

昭和五十四年松代町の死亡者数は八十人で、死亡率は人口千人に對して十・八人です。全国、県とも死亡率が減少しているなかで、増加の傾向がみられます。

死亡順位の第一位は、脳卒中と心臓病で、それぞれ十八人、二二・五%です。第二位はがん、十四人で十七・五%です。脳卒中、心臓病、がんは成人病と言われている方が、この三つの原因で亡くなった方が、全体の六二・五%を占めています。第四位は老衰十三人で十六・三%を占めています。第五位は自殺、縊死、六人で七・五%です。

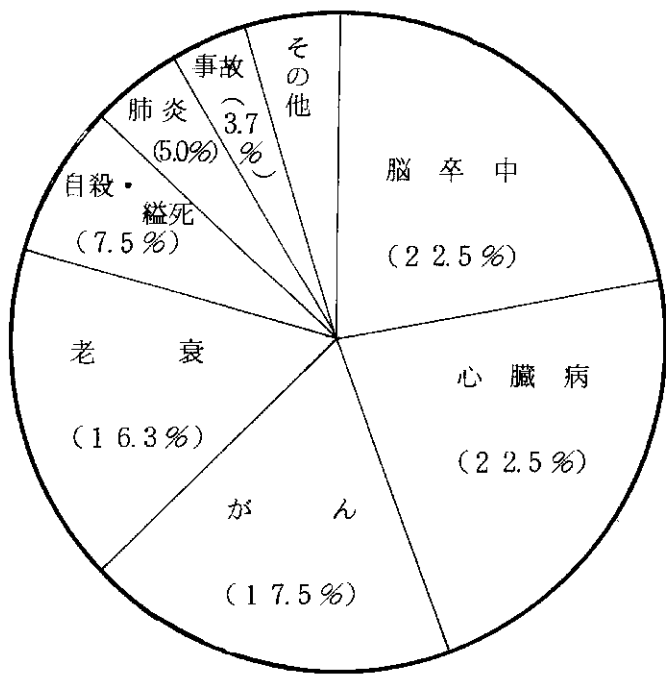
年齢別では、若くして亡くなる方が多くいます。二十才までに二人、三十一才から四十才までに一人、三十一才から四十才までに一人、四十一才から五十才までに四人、五十一才から六十才までに八人、六十一才から七十才までに十人、七十才までに、三十二人の方が亡くなっています。そのうち成人病では二十三人です。成人病が、このように多いため、

若年者の発病、死亡をなくそうと力を入れていきます。そのため検診、指導会、衛生教育を行なっています。出稼検診、循環器検診、老人検診などによって、血圧の高い人、心臓の具合の悪い人、尿に蛋白や糖の出る人、高脂血症の人など、早くみつければ、その後適切な治療につくことや、日常生活に気を付けて、今以上悪化させないようにつけて、結びつけていきます。検診は、ほとんどの方が、受けられています。が、注意や、指導された事はぜひ守って下さい。今年も検診を実施します。成人病予防のため全員の方が受けて下さい。

がんは、早期発見、早期治療が大切です。自覚症状がなくても、毎年検診を受けて健康を確認する事が大切です。がんの検診は、松代町では、胃の集団検診と、婦人科検診を申込制で行なっています。今年もありますので、一人でも多く受診して下さい。

自殺、縊死は、毎年多く、不自然な、なくなり方ですので、家族ぐるみ、部落ぐるみ、町ぐるみで

昭和54年死亡原因



昭和54年 年令別死亡原因

()は女

死 因	0 ~20才	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~80	81以上	計
脳 卒 中					2	3 (1)	6 (3)	7 (5)	18 (9)
心 臓 病	1	1		1	1	6 (3)	5 (3)	3 (3)	18 (9)
が ん					3 (1)	7 (3)	4 (2)		14 (6)
老 衰							4 (2)	9 (6)	13 (8)
自 殺			1	1	1 (1)		2 (2)	1 (1)	6 (4)
肺 炎							3 (2)	1 (1)	4 (3)
事 故				1	1		1		3
そ の 他	1 (1)			1			1 (1)	1	4 (1)
計	2 (1)	1	1	4	8 (2)	16 (7)	26 (15)	22 (16)	80 (41)

自殺の防止をしていく必要があります。

(4)

心配ごと相談

秘密厳守・無料です

生活苦・家庭不和・児童問題・老人問題・その他心配されていることがありましたら相談下さい。

とき 毎週金曜日

午前九時から

十一時半まで

ところ 松代 少林寺



第20回 町内スキー大会

継走で古町チーム
3連勝



室野スキー場オープン

室野部落入口（松代より）にスキー場ができました。昨年発足した室野スキークラブ（会長 小塚貢 会員78名）の皆さんが中心となり事業を進めていた室野スキー場の第一期工事が終了。1月13日、盛大にスキー場開きが行われました。式には町長をはじめ、教育長、町スキー協会長ほか多数の来賓、関係者が出席。テーパーカットのあと、喜びの初スベリが行われました。室野スキー場は全長五〇〇m、幅一五〇m、標高差一五〇mの立派なものであり、このスキー場の開設以来、親子でスキーを楽しむ家庭がぐんとふえており、冬の娯楽、体力づくりに大きな期待が寄せられています。スキークラブでは、このあと斜面整



備やノルディックコース・休憩所の設備等の事業を計画しているとのこと。

2月3日、松代町スキー協会主催による第20回町内スキー大会が開催されました。午前は、少林寺スキー場で回転、大回転競技が、午後は、松代中学校グラウンドで、レクリエーション・駅伝継走が行われました。当日は絶好のスキー日和となり、大会の花形、駅伝継走には18チームが参加、応援の拍手とかけ声をうけ、大熱戦を展開しました。

大会の結果は次のとおりです。

●回転の部

- 青年一部
 - ①竹内修一 ②石口博雄 ③大島正明
- 青年二部
 - ①武田繁男 ②関谷 馨 ③関谷栄治
- 第一壮年の部
 - ①関谷昭栄 ②山岸 進 ③山岸俊雄
- 第二壮年の部
 - ①佐藤政行 ②関谷松雄 ③樋口堅一
- 第三壮年の部
 - ①関谷政一 ②平沢 清 ③若井武徳

●大回転の部

- 青年一部
 - ①竹内修一 ②石口博雄 ③高橋正巳
- 青年二部
 - ①黒田広幸 ②関谷栄治 ③関谷 馨

●駅伝継走の部

- 第一壮年の部
 - ①関谷昭栄 ②山岸 進 ③村山達三
- 第二壮年の部
 - ①佐藤政行 ②樋口堅一
- 第三壮年の部
 - ①関谷忠吉 ②関谷政一 ③平沢 清
- 婦人大回転の部
 - ①佐藤日出子 ②藤田純子
- 古町Aチーム（関谷邦一・関谷 馨・鈴木孝雄）
 - ②古町Bチーム（山岸宏海・市川 実・五十嵐勲）
- 電気屋チーム（関谷司郎・佐藤 幸治・佐藤政行）
 - ④商工会チーム（鈴木誠一・山岸 進・牧田義雄）
- 役場Bチーム（関谷栄治・武田 芳夫・石口松男）
 - ⑥役場Cチーム（石口丈夫・室岡 徹・山賀茂）
- ◎駅伝継走個人タイム（約2Km）
 - ①関谷馨 7分47秒 ②鈴木孝雄 8分19秒 ③大島正明 8分30秒 ④佐藤政行 8分52秒 ⑤市川実 9分01秒 ⑥関谷邦一 9分04秒 ⑦牧田義雄 9分09秒 ⑧山岸宏海 9分29秒 ⑨五十嵐勲 9分35秒 ⑩齊木優 9分38秒

小・中学校スキー大会結果

主催 松代町教育振興会
期日 2月6日 (6)



- 中2学年① 村松由美子
② 西潟留美子
③ 齊木保子
④ 横尾雅子
⑤ 富沢かつみ
⑥ 牧田美奈子
中3学年① 小島早苗
② 本柳禎子
③ 中沢巳守子
④ 米持朋子
⑤ 福島和美
⑥ 山岸典子

ノルデックの部

(上位6位までの入賞者)

(距離)小学生男子

- 5学年 ① 佐藤 祐二 清水小
② 柳 益夫 松代小
③ 石口 雄一 松代小
④ 宮沢 充 松代小
⑤ 寺崎 幸男 桐山小
⑥ 若井 義広 蓬平小
6学年 ① 小堺 敏明 室野小
② 中村 修 舩平小
③ 山賀 智之 松代小
④ 柳 浩二 松代小
⑤ 池田 昇 北山小
⑥ 鈴木 和夫 室野小



(大回転)中学生男子

- スキー部① 茂野 広平
② 小島 昭夫
③ 相沢 忠
④ 市川 清
⑤ 齊藤 文明
⑥ 関谷 徹

(大回転)小学生女子

- 5学年 ① 山岸 由加 室野小
② 本山 洋子 室野小
③ 佐藤 信子 孟地小
④ 佐藤 由美 室野小
⑤ 山岸 さおり 室野小
⑥ 佐藤 時子 室野小
6学年 ① 佐藤 房江 孟地小
② 柳 清美 孟地小
③ 高橋 博子 室野小
④ 中村 矢寿子 室野小
⑤ 柳 洋子 孟地小
⑥ 柳 敦子 蒲生小

(大回転)中学生女子

- ① 柳 智子
② 田辺 秀美
③ 西潟 範子
④ 関谷 直美
⑤ 小堺 聡子
⑥ 佐藤 昭子

6学年 ⑥ 佐藤 弘幸 孟地小

(大回転)中学生男子

- 中学1年① 五十嵐 政和
② 山賀 和広
③ 村松 修博
④ 市川 功
⑤ 高野 宏
⑥ 谷沢 信一
中学2年① 万羽 幹春
② 山本 秀樹
③ 中島 晃
④ 上村 隆一
⑤ 関谷 信幸
⑥ 佐藤 伸一
中学3年① 若月 英樹
② 菅井 和博
③ 柳 隆夫
④ 牧田 正樹
⑤ 山岸 正博
⑥ 堀川 武雄

(回転)中学生男子

- ① 相沢 忠
② 市川 清
③ 関谷 徹
④ 小島 昭夫
⑤ 田辺 政彦
⑥ 齊藤 文明

アルペンの部

(上位6位までの入賞者)

(回転)小学生男子

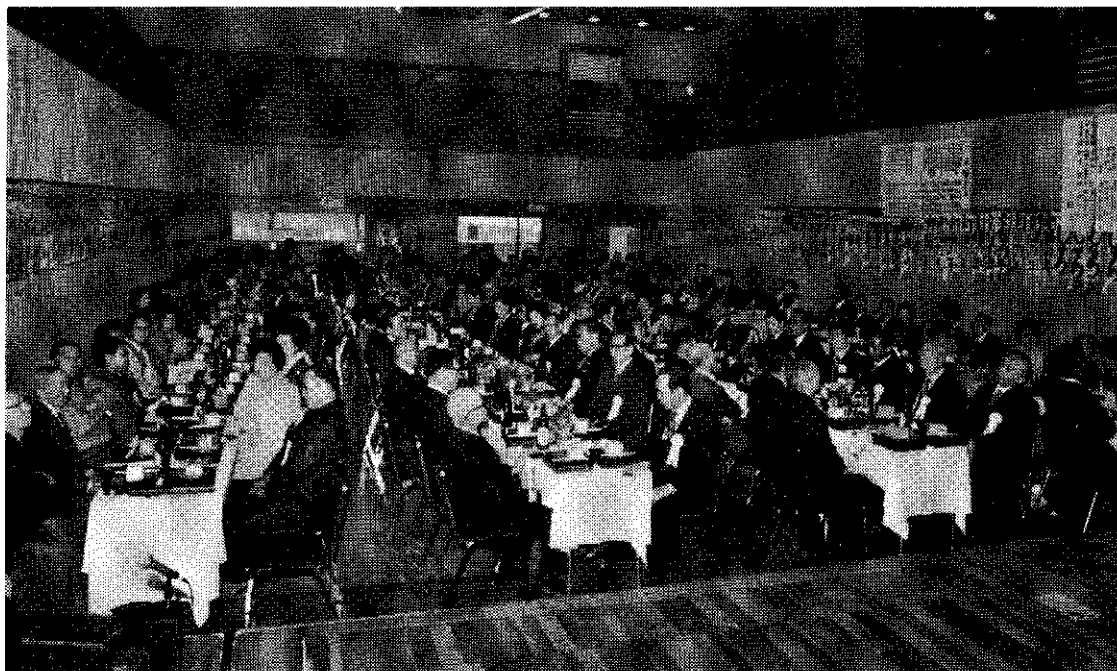
- 5学年 ① 関谷 司 松代小
② 仲村 一弘 儀明小
③ 柳 俊幸 孟地小
④ 関谷 康明 松代小
⑤ 谷沢 正広 峠小
⑥ 米持 善仁 室野小
6学年 ① 小島 正志 松代小
② 柳 豊 孟地小
③ 齊木 秀雄 室野小
④ 松永 賢二 松代小
⑤ 佐藤 弘幸 孟地小
⑥ 柳 幸輔 孟地小

(大回転)小学生男子

- 5学年 ① 山岸 秀一 蒲生小
② 若月 祐一 松代小
③ 関谷 司 松代小
④ 矢沢 正芳 峠小
⑤ 仲村 一弘 儀明小
⑥ 佐藤 健一 室野小
6学年 ① 齊木 秀雄 室野小
② 小島 正志 松代小
③ 柳 二三夫 孟地小
④ 松永 賢二 松代小
⑤ 笠原 繁雄 松代小

ふるさととの絆・強く・太く

＝東京奴奈川校友会新年会に260名が出席＝



去る1月27日、東京奴奈川校友会の新年会が東京の千日谷会堂で行われ、約260名の出席者でにぎわいました。町からも町長・議長をはじめ、教育長、関係学校長はか多数の方々が出席し、新しい年の門出を祝いました。

東京奴奈川校友会は、東京室野校友会と峠小学校同窓生有志の皆さんとの合同により54年1月発足したものです。

室野校友会は、昭和34年の創立以来20年の歴史を持ち、室野小学校同窓会誌「むろの校」の発刊や室野小学校への寄付や寄贈、お盆の墓参訪問など郷里とのさまざまな交流を続けてきていましたが、奴奈川中学校の廃校により、親しんできた奴奈川の名が消えることを惜しみ、峠学区の皆さんとの協力により、さきの発足となったのです。

発足まもない昨年11月、最初の記念事業として室野・峠小学校卒業生住所録を主な内容とした「わが奴奈川」を発刊、郷土愛の精神に燃えた内容となっています。

今回の新年会の折には、室野神楽保存会の皆さんによる神楽舞も披露されるなど大盛会の新年会でした。



(距離)中学生男子

- スキー部① 山賀 健一郎
② 片桐 真人
③ 柳 正春
④ 中村 義寛
⑤ 市川 雪政
⑥ 富沢 政彦
⑥ 関谷 直明

(距離)中学生女子

- スキー部① 志賀 菊江
② 関谷 秀子
③ 高橋美由希
④ 万羽 匠子
⑤ 秋山久美子
⑥ 佐藤 律子

(継走)小学生男子(上位3チームまで)

- ① 松代Aチーム
② 室野Aチーム
③ 桐山チーム

(継走)小学生女子

- ① 松代Aチーム
② 清水チーム
③ 松代Bチーム

(継走)メドレーリレー

- ① 勘平チーム
② 北山チーム
③ 清水チーム

(距離)小学生女子

- 5学年 ① 山賀 愛子 松代小
② 室岡 知子 北山小
③ 池田 弘美 勘平小
④ 小堀智恵子 室野小
⑤ 中村 由美 清水小
⑥ 横尾よし枝 峠小
- 6学年 ① 山賀伊佐子 松代小
② 中村 由紀 清水小
③ 小野島智子 清水小
④ 関谷 洋子 松代小
⑤ 山岸あけみ 孟地小
⑥ 小山 純子 桐山小

(距離)中学生男子

- ① 中村 浩
② 植木 勲
③ 鈴木 寿
④ 中沢 一正
⑤ 柳 幸久
⑥ 石口 春夫

(距離)中学生女子

- ① 山賀 広恵
② 高橋 弥生
③ 高橋 昭子
④ 柳 恵子
⑤ 本柳 典子
⑥ 柳 和子

子供たちは、いま……

54年版「青少年白書」から（その1）

新学期が近づきました。子供たちにとっては、進級、進学に胸おどらせる季節です。ところで、いま子供たちは何を考え、どんな遊びをし、どのような将来の夢を描いて日常生活を送っているのでしょうか。

わたしたち親の一人ひとりが、

子供を語る

親の本当の愛情を求めている

青少年問題審議会委員

井村和朗

子供の生活環境としては、家庭と学校、社会の三つをあげることができますが、いま一番問題なのは、やはり家庭での親のあり方でしょうね。

高度経済成長の過程で、親の意識が、とかく物質的な充足に向けられ、その反面、子供が疎外されていったということがいえると思います。

ひとつの例をあげますと、夫婦共働きでがんばる、それはそれでいいのですが、ふだん子供をかばってやれないという引け目を、ついつい小遣いの額を増やしたり、物を買ってやったりすることで埋め合わせしてしまう。しかし、子供が求めているのは親の本当の愛情なんですね。

子供の非行や自殺という反社会的な行動が増えるのも、一つにはこうした親子関係のもとでは、子供は社会とのつながりを持ち得ないからだと思います。子供の社会性は、家庭の中で親との交流や友だちとのつきあいの中で身につけていきます。

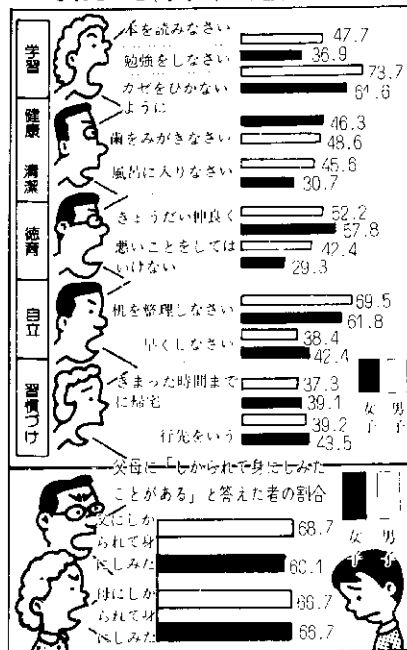
子供たちの“心の風景”を常に的確につかんでいる——このことが子供の健全な成長に大きなプラスになることはいうまでもありません。54年版「青少年白書」から“現代の子供像”を浮き彫りにしました。

お母さん方は神経質になりすぎて、ハレものに触れるように子供と接する。これでは逆効果です。じっくり話し合う親と子の会話が、もっとも必要です。それと同時に、お父さんしっかり！といいたいですね。“弱い父親”は、子供によい影響を与えません。

小学生では、親がもっと自分に関心を持って欲しいとする者は少ないが、中学生になると、男女とも親の関心の薄さを感じる者の割合が20%を超え、かなり多くなる。

子供は、親のしつけによって、家庭や社会のきまりを身につけていく。親からのしつけや注意は、女子より男子の方がよく受けており、また6～7割が親にしかられて「身にしみた」と率直に反省している。

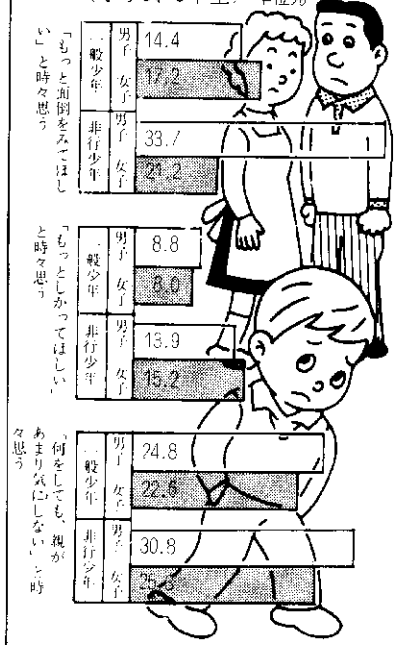
しつけに関することでよく注意されること（小学5、6年生）単位%



しつけ

六割以上が「しかられて身にしみた」

親の自分への関心に対する欲求（小学5、6年生）単位%

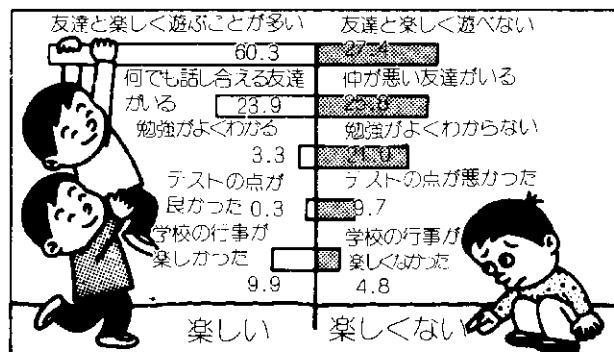


親との触れ合い

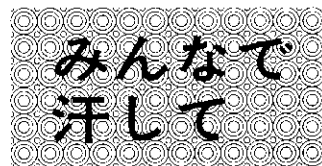
親の関心の薄さに不満も

学校生活

楽しさは友人関係に



○小・中学生とも、友だちとの交際に学校生活の楽しさを感じている者が多い。



笑顔がみなぎる

家庭づくりをめざして

共働き家庭は、共働きであることのよさを積極的に子どもに話しているでしょうか。

共働き家庭の場合、働く父親・母親像の伝達が時間的にむずかしい。それだけに直接子どもに語りかける努力が不可欠です。そうではないと、まさに多忙さの中に心が荒れてゆくことが起こります。

「こんなに私が一生懸命やっているのだから、黙っていても子どもに分かるはずだ」と、思うかもしれないですが、子どもには分からないのです。子どもからすれば、毎日見るテレビドラマの主人公の気持ちのほうに分かります。一日の中のわずかな子どもとのふれあいの時間を大切にして、「何故お母さんが仕事をもっているのか、もっている事でどのような面がよいのか」について、くり返し話す必要があります。



米とぎ

孟地小2年

柳 広子

おかあさんが、やねの雪ほりをして、つかれたので、わたしは、かわりに、米をとぎました。おかまに、米を入れ、水を入れたら水が、まっ白い水に、なってきました。どうしたのかなあと、思いました。わたしは、米をとぎながら、考えました。そのこたえに気づきました。それは、米にぬかが、いっぱい、ついているから

です。そのぬかが、とれて、水が白くなると、思いました。それから、何回も、何回も、といて、と、サクサクと、音が、します。米と米が、いたいよ。いたいよ。と、言っているみたいです。米は、おかまに、いっぱいある。いったい、なんこぐらいあるのかなあと、思いながら、米を、いじっていました。そのうちに、水が、きれいに、なってきました。手も、つめたくなって、きました。おかあさんが、

「そんなに、とくと、えいようがなくなるよ。」

と、言いました。わたしは、

「どうして？」

と、きくと、

「あじが、わるくなるっけ。」

と、言って、いました。あんまり、米は、とがないほうが、いいらしいです。わたしは、大きな、こえで、

「はあーい。」

と、言って、こたつに、もぐりこみました。とても、手が、つめたかったです。



おばあちゃん
ありがとう

儀明小5年
小 堀 邦子

うちのばあちゃんは、とてもよく働く。朝からばんまで休みなしに働いているといえるだろう。

そんないそがしい中で、ばあちゃんには私達のめんどうをよく見てくれる。弟の服がみつからないとさがしてくれる。夏は、弟のようちえんの送りむかえをやっている。それに、よその家からおかしをもらった時などは、必ず残して私達にくれる。家でケーキを食べる時も、ばあちゃんは残して私達にくれる。

おもしろい面もある。時々、弟を自分のすわっている所にひっぱってきて、すわりながらしつかりつかまえている。すると弟は、「わあ、わあ、助けてくれえ。」ともがく、それでもばあちゃんは笑いが、それでもばあちゃんは笑いが、それでもばあちゃんは笑いが、



ぼくのジーパン

峠小1年

さとう まさひで

テレビのチャンネルをかえようとすると、服をひっぱってださせないようにすることもある。

こわい時もある。たとえば、おもちゃを出しっぱなしにしてねたり、少しも手伝いをしないでねたり、ごろしていたりすると、「またかたづけねえでねたねえ」とか「仕事しねえでねたねえ」とか「子供だ」とか「さっさとしねんだねえ」とおこって自分でする。

私達がわがままをいったり、こまらせたりすると、ばあちゃんが苦勞するばかりだ。ばあちゃんをこまらせたり、めいわくをかけたらしいから、ばあちゃんもいつまでも元気でいてほしいと思う。

ぼくのズボンについて、かんがえてみました。

ぼくのズボンは、おかあさんがかってくれました。

ズボンには、ポケットが四つあります。チャックもぼたんもついて、いろいろいろいろあります。そして、みんなかっこいいです。

でもひざのところがすぐやぶけます。やぶけたのは、おかあさんがぬつてくれます。小さくなったら、おとうとにあげます。

ぼくは、また、あたらしいズボンをかってもらいます。

うれしいです。

ズボンのうらは、ぜんぶゴムでできていて、まえば、ゴムがなくふつうのズボンです。ねだんは、たかいそうです。おかあさんが、そういつてました。

こんなズボンをはいっているの、ころんだってけがをしません。

ぼくをたすけてくれています。

ゆきのなかでもさぶくなくて、あせがでます。はしったり、スキップをしたり、ゆきをけつとばして、こわしたり、することができます。

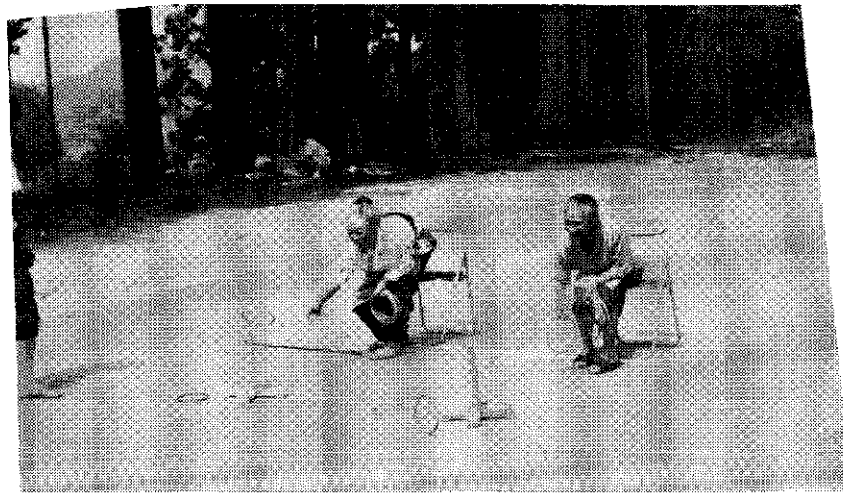
ズボンがあつてあんしんしてあそべるんだとおもいます。

みんなの広場

＝分校と私達＝

滝沢分校PTA

佐藤 富士郎



松代町の中で一番児童が少ない学校といわれる私達の滝沢分校は、現在四名の児童です。町当局をはじめ三浦校長先生の並々ならぬ、御理解と御配慮により四名の児童が社会に正しく適応して行くための教育をと、本校との集合学習や交歓学習等を授業計画の中に取り入れる等幸せな教育を受けながらすくすくと成長しております。しかし残念な事に来年度は僅か二名の生徒になってしまいます。しかし何人になろうと、部落全体で育てて行こうという協力姿勢のもとにPTA活動を行っております。

事業の一部を御紹介いたしますと、七月十五日に、滝沢分校地区運動会を開催しました。子供達を主役とし部落民全員が参加し紅白にわかれ綱引き、リレーやら、老人クラブの輪投げ等、老いも若きも子供達と一緒に競い合い、汗を流しました。閉会后、子供達といっしょに懇親会を行い、校長先生のピアノ名演奏等で、会を一層盛り上げて戴きました。最近親子の断絶とか耳にする昨今こうして老いも若きも子供達と一緒に健全なる児童育成をめざし参加する姿こそ真のPTAの在り方ではないかと思いました。それから新しい事業の一つとして昨年度から出稼者激励会を計画し、出稼者の皆さんを激励する意味で十一月十日分校屋内運動場に於て部落民全員が参加し開催しました。そして授業で参加出来なかった中・高生徒による出稼者への激励の作文が本年度滝沢分校に配置されたVTRによりはじめてみんなに公開されました。そして四名の児童による劇「かさ地蔵」婦人会の踊りなど素晴らしい激励会になりました。そして和やかな中にも私達の目を引いたのは涙ながらに喜ぶ老人達の姿



でした。最後に出稼者の代表から感謝のことばがあり和やかな拍手かっさいの中出稼者を送る事ができました。こうして出稼ぎを目前にして、父と子、そして家族、部落民が心を一つにして長い冬を乗り越えて行こうとする、団結のきずなをより深めた事は本当によかったと思います。その他の事業として、二月十五日雪の芸術展、二月二十四日滝沢分校地区雪上運動会。三月に入って給食反省会、六年生を送る会等、実りある会が計画されております。こう

してPTA事業をふりかえってみますときに分校と私達はかけはなすことの出来ない存在である事に気がつきました。そして二人の先生が私達の生活の中に解けこみ、社会教育の向上と部落民の辛世の為に先頭に立ってあらゆる角度から企画実践してくださる事に対し私達ももっと積極的に協力し実践して行かなければならないと反省しております。そして私達が一番考え改めなければならぬのは松代町がめざさないのは松代町がめざす、過保護を排し次代を生きぬく、たくましい児童育成の為にまず家庭教育から改め、最善の努力をしなければならぬと心を新にしております。

佐藤純一君 (松代中3年・千年) 全国中学選抜スキー大会で 8位に入賞



松代中学校の佐藤純一君(三年)は、去る2月7日北海道旭川で行われた全国中学選抜スキー大会に出場し、一六九名の参加者で争われた男子10キロ競技で堂々8位に入賞しました。

佐藤君は、上越スキー選手権の男子10キロ競技で優勝、県スキー選手権では同種目2位の好成績を収め、新潟県代表として全国大会へ出場していたものです。

バレーボール 公認審判員が 増員されました

バレーボール協会(協会長、藤巻幹雄)では、公認審判員を増員するため、昨年八月から、松代中学校小菅信之先生の指導のもとで、中学校始め、高校、町体育協会の協力により、通算四十三回の講習会を開催してきました。

そして、昨年十二月九日、新潟県バレーボール公認審判員の検定会が、上越で実施され、次の方々が、みごと、その資格を取得しました。

松代	鈴木幸紀代
松代	本山豊樹
松代	本柳俊孝
松代	樋口昭一
松代	富沢恭一
松代	佐藤一徳
小室丸	柳昇
小室丸	柳哲郎
池之畑	山賀子平
池之畑	市川角治
池之畑	高橋芳雄
田野倉	斉藤一良
以上十二名	

バレーボールを通じ、今後、町体育協会の発展に寄与されることを、期待いたしますよう。

“民謡”を 習いませんか

松代民謡教室では、指導されていた樋口政信さんが町外に転出されたため、新たに十日町市より、関口越正先生を講師に迎え民謡教室を四月より開設します。会費は月千円(毎月2回・第一・第三火曜日・夜)で会員を募集中です。申込み・お問合わせは町総合センターへ。



☆所得税の申告は お早めに☆

所得税の確定申告と納税は、3月15日までです。まだ申告がお済みになっていない方は、お早めに済ませてください。

期限間近になりますと税務署は大変混雑します。

児童手当 支給の お知らせ

児童手当二月期支給分は二月九日付で受給者各位の各々第四銀行・松代町農協口座に振り込みますのでお確かめ下さい。

二月期支給分より手当の額が改正され、町所得割額の無い方は、一月六、五〇〇円の四カ月分・町所得割額の有の方は、従来どおり一月五、〇〇〇円の四カ月分です。この次の定時支給日は、6月10日です。

◆赤でんわからの緊急電話

一一〇番(警察署)・一一九番(消防署)

へのかけかた

赤でんわをつかって緊急通話をするとき、赤でんわに一〇四硬貨を投入して一一〇番あるいは一一九番をダイヤルしても、あなたの声は先方に聞えませんが、つぎの要領によってご利用ください。

1. 料金(一〇円)は不要です。
2. 赤でんわのおうちの方に「緊急通話をお願いします」と申し込める。
3. 赤でんわのおうちの方が切替える。
4. 一一〇番あるいは一一九番をダイヤルする。
5. 「警察署」又は「消防署」がでたら、はっきり要件をいう。

